町民の声

認知症

K・F

認知症は、一番なりたくない病気ではありませんか。

早期発見、早期対応と言うけれど、それでも病院の門をくぐるまでには時間がかかります。超高齢化社会になり、皆が皆、病院で看取られて最期を迎えるようにはいかなくなっています。今こそ自分の住んでいる隣近所や地域の繋がりが大事な時ではないでしょうか。お互いを知り、心配り・目配りをし、高齢家庭や認知症を抱えている家族と共に暮らしながら地域で支えあっていくことが大事です。

挨拶や雑談をしているうちに「そういえば最近見ないね」「服装がここんとこずっと同じだし、ごみも置いたままだね」とか、何時もと違うことに気が付くかもしれません。事が起こってから「そういえば・・・」などと後悔することが無いよう、皆で繋がりを持ちましょう。

最近読んだ本に「ぼけないためには『きょうよう』と『きょういく』が必要だ」とありました。『きょうよう』は「教養」ではなく「今日用がある」また『きょういく』とは「教育」ではなく「今日行くところがある」ってこと。これです。

何でも良いのです。例えば、今日はライブラリーに行ってみよう。今日は松前公園を二周する日だとか。

生活習慣病を予防・治療して、健康的な生活を送ることが認知症予防のポイントだと思います。

傍聴席

町議会の一般質問を傍聴して

住み続けたい松前人

久しぶりの傍聴だった。

4人の議員の一般質問があり、女性議員2人が真面目に粛々と質問し、役場の方も答えた。

え、なんだか静か。野次もなし皆おとなしい。以前は私語や野次があったのに。女性議員に野次を入れたらどこかの様になるからかな。

男性議員の番になった。

内容が要旨と離れておかしいと思ったら、短い野次がはいった。議長が議事を妨げる発言はやめるようにと事務局に規則を読ませその議員を諌めた。

議会が静かになったのは、質が向上したのではなく違う嫌がらせになったようだ。

これでは、皆が参加できる議会ではない、以前からの一部の人だけのものではないか。

がっかりし悲しかった。

パソコンから傍聴

一般質問をライブ傍聴して

U・Y

今回、初めて一般質問のライブ中継で傍聴しました。自宅のパソコンで議場へ出向かず傍聴できる便利さが分かりました。

しかし、「何の予備知識なく傍聴しても理解しにくいなー」と思いました。

また、当日の質問内容がフィリップなどで映してもらえるとより理解し易いのでは、と思いました。色々質疑がありましたが、街路灯のLED化は玉切れ、電気代、照度悪化に有利であり、積極的に進めてもらいたいと思いました。

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしています。

（次回は6月中～下旬の予定です。）

町民の声 募集

ご意見・ご要望などをお寄せ下さい。

（500字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先をお書きください。）

【宛先】

松前町筒井631

議会広報常任委員会

「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail：

500gikai@town.masaki.ehime.jp